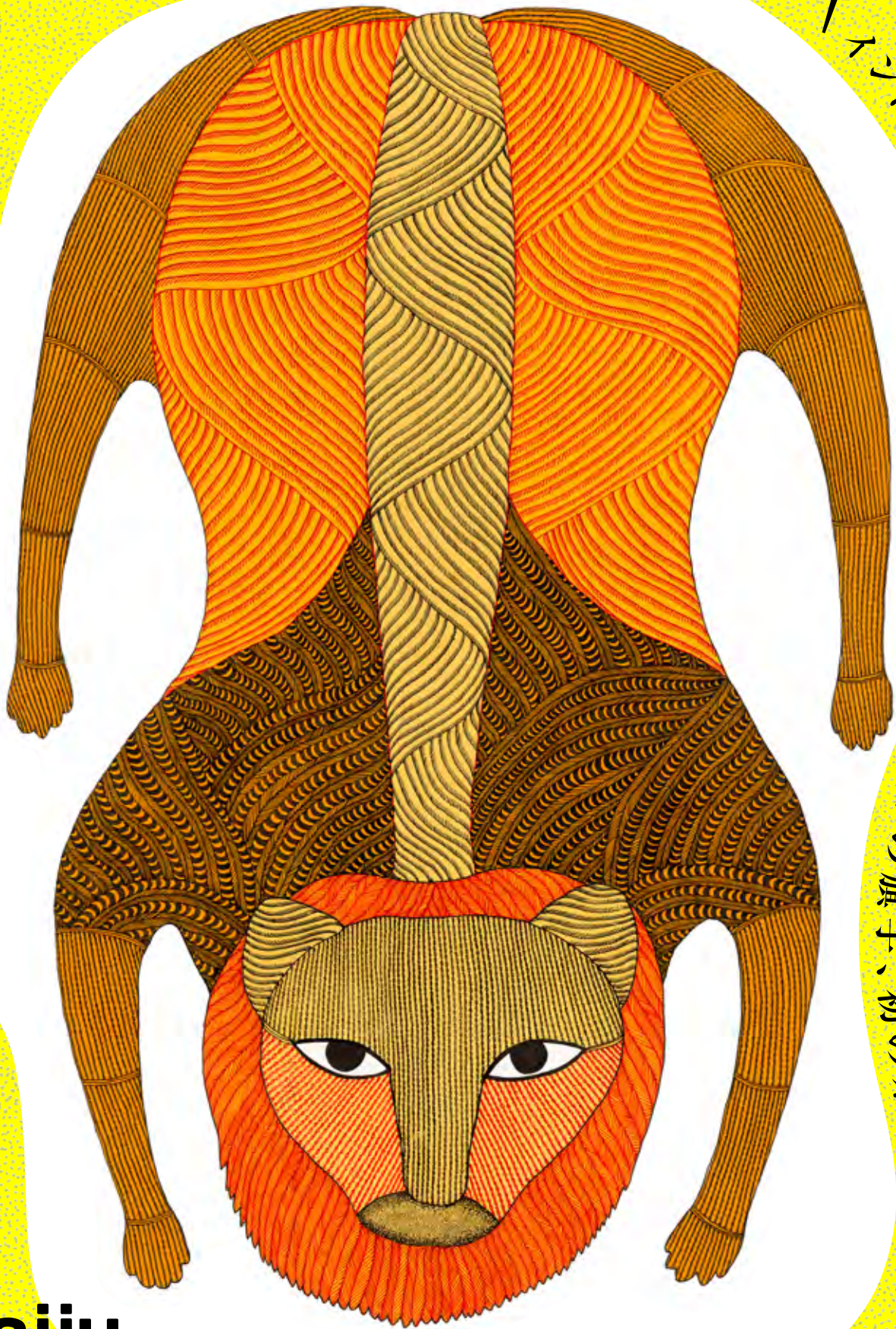


Narrative Spinner

物語の紡ぎ手

कथाकार



「インド舞」世界が注目する現代ゴンドラ・アーティストの旗手、初の来日展開催

**Bhajju
Shyam**
KYOTO
バッジュ・シャム・キョウト

2023 8.11(金・祝) - 8.29(火)

東寺・食堂 (じきどう) 世界遺産 真言宗総本山 教王護国寺

9:30 - 16:30 | 入場無料 | bhajju-shyam.jp

主催: バッジュ・シャム・キョウト実行委員会 contact: info@bhajju-shyam.jp

2023 2017

Instagram





バッジュ・シャームの“物語”を日本に本展のための描き下ろし作品や、最新作となる大型キャンバス作品など約40点を、世界遺産である東寺・食堂（じきどう）にて展示。

驚くほど緻密なパターンや大胆なコンポジション、ユニークなモチーフと鮮やかな色彩のコンビネーションなどを原画でお楽しみいただけるほか、絵の中で表現されている、 Gond族に伝わる神話や伝承、そしてバッジュ・シャーム自身の物語も併せて紹介します。

会場では、貴重な原画の販売も行うほか、複製原画やバッジュ・シャームのアートを用いた様々なグッズを販売するポップアップショップも同時にオープンします。

膨大な量の点の
ひとつひとつに、
宇宙の起源、
生命の喜びが詰まっている。

バッジュ・シャームの絵を前にするとき、私たちは生まれてはじめて自然に触れるおさな児に還り、宇宙の一部である自分を取り戻す。

そして、まなざしこそが世界の窓であることを思い出す。

— 小野美由紀（作家・SFプロトタイプ）



5



6



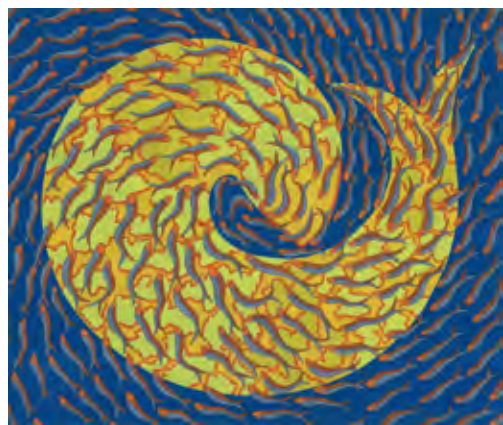
Photo: Kodai Matsuoka

バッジュ・シャーム
Bhajju Shyam

インド中部の森にあるゴンド族の村パタンガル生まれ。ゴンド族に伝わる表現や物語を受け継ぎながら自身の視点で昇華し、現代的な感覚やシンプルなストーリーテリングを交えて表現することで、師匠であり叔父であるジャンガル・シン・シャームが確立した現代ゴンド・アートの表現を拡張し続けている。

代表作に、南インドの出版社タラックスと制作した『ロンドン・ジャングルブック』、『夜の木』、『世界のはじまり』など。2018年には日本の国民栄誉賞に相当するパドマ・シュリ賞をゴンド・アーティストとして初めて受賞し、モディ首相から表彰された。

1998年パリでのグループ展参加を皮切りに、世界各国の美術館で個展が開催されており、日本では今回が待望の初個展となる。



2



3



4

1.《Search》2022 2.《Fish Birth》2014 3.《Hunting》2019-2020 4.《Untitled》2019-2020 5.《Mahua Tree》2018 6.《Untitled》2019

プリミティブなフォークアートと抽象的な現代アートとが混然一体となった、見たこともない表現様式に圧倒された。

— 田村実（タムラ堂代表・元 福音館書店 絵本編集長）

優れた画家は抽象的なシンボルやメタファーを用いて、人々の暮らした宇宙の成り立ちが呼応していることを表現することが出来る。

—— ギーター・ヴォルフ（タラックス代表）
「世界のはじまり」(2015年) 後書きより

開催概要

Bhajju Shyam KYOTO (バッジュ・シャーム・キョウト)
日程：2023年8月11日（金・祝）～8月29日（火）期間中無休
開館時間：9:30～16:30 入場料：無料
会場：東寺【教王護国寺】・食堂 京都市南区九条町1番地

提携宿泊施設



会期中、話題のアートホテル「KAGANHOTEL(河岸ホテル)」B1 ギャラリーにもバッジュ・シャーム作品が登場！

・ご宿泊の方のほか、宿泊の方以外も土日祝12-17時にご覧いただけます

通常宿泊プランが以下の公式サイトからのご予約で10%OFF
<https://kaganhotel.snack.chillnn.com/>
ディスカウントコード：Bhajju8 予約対象期間：2023.8.1 - 8.31

